

マーケットの動き（2023年12月4日～12月8日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

米国の景気後退懸念やFRB（米国連邦準備制度理事会）による早期の利下げ開始観測などを背景に米国金利が低下したことや、植田日銀総裁の答弁から早期の金融政策正常化に対する思惑が広がったことなどを背景に、円高・米ドル安が進行し国内株式は軟調に推移しました。

投資環境見通し（2023年12月）

国内株式相場は堅調に推移

企業業績については、中国景気減速の影響を受ける企業もみられていますが、7～9月期の純利益は概ね堅調で、在庫循環面に加えて円安が輸出関連企業にプラスとみられることから、引き続き底堅く推移するとみています。国内株式相場は、米国景気の動向には注意を要しますが、円安の動きが企業業績にプラスとみられることに加え、補正予算の景気下支え効果や新NISA制度開始により個人投資家の資金流入も見込まれることから、堅調に推移するとみています。

	12月8日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,324.47	▲2.44%	0.80%	6.07%	19.73%
日経平均株価	32,307.86	▲3.36%	0.44%	2.11%	17.17%

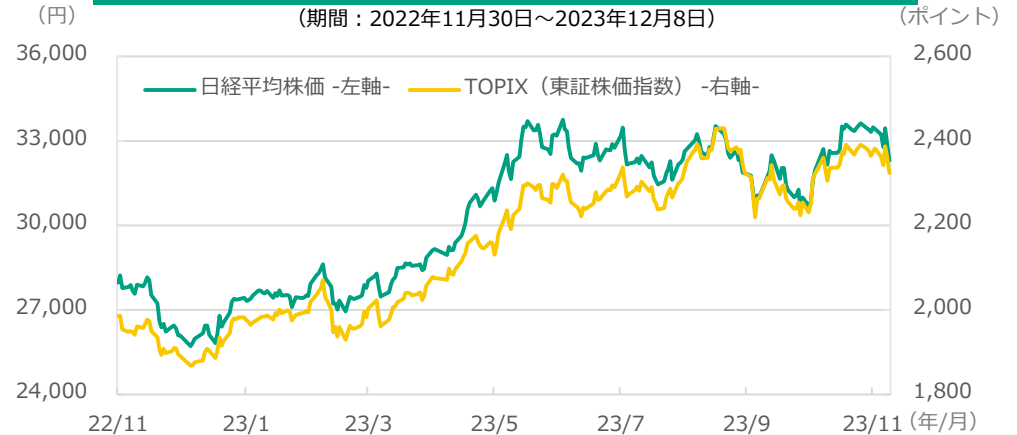
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

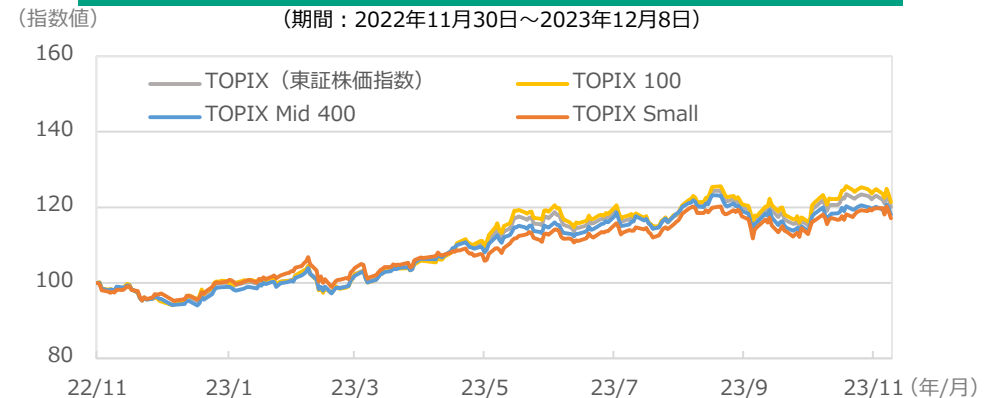
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202312_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2022年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成